

ネイティブ微生物 L- α -グリセロホスフェートオキシダーゼ

Cat. No. DIA-200

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明

酵素学において、グリセロール-3-リン酸オキシダーゼ (EC 1.1.3.21) は、次の化学反応を触媒する酵素です: sn-グリセロール 3-リン酸 + O₂ ⇌ グリセロリン酸 + H₂O₂。したがって、この酵素の二つの基質はsn-グリセロール 3-リン酸とO₂であり、二つの生成物はグリセロリン酸とH₂O₂です。この酵素は酸化還元酵素のファミリーに属し、特に供与体のCH-OH基に作用し、酸素を受容体とします。この酵素はグリセロホスファリピッドの代謝に関与しています。1つの補因子、FADを使用します。

用途

この酵素は、臨床分析においてリポプロテインリパーゼおよびグリセロキナーゼと結合することで、トリグリセリドの酵素的測定に役立ちます。

別名

L- α -グリセロホスフェートオキシダーゼ; sn-グリセロール-3-リン酸: 酸素 2-オキシドレダクターゼ; グリセロールリン酸オキシダーゼ; グリセロール-1-リン酸オキシダーゼ; グリセロールリン酸オキシダーゼ; L-アルファ-グリセロホスフェートオキシダーゼ; アルファ-グリセロホスフェートオキシダーゼ; L-アルファ-グリセロール-3-リン酸オキシダーゼ; EC 1.1.3.21

製品情報

由来

微生物

外観

黄褐色の非晶質粉末、凍結乾燥された

EC番号

EC 1.1.3.21

CAS登録番号

9046-28-0

分子量

approx. 93 kDa (by gel filtration)

活性

グレード III 15 U/mg-固体以上 (安定剤約60%を含む)

混入物

乳酸オキシダーゼ < 2.0×10⁻⁴% | ホスファターゼ < 1.0×10⁻³% |

等電点

4.6±0.1

pH安定性

5.0-7.5 (25°C, 60分)

最適pH

6.5-7.0

熱安定性

45°C未満 (pH 6.5、10分)

最適温度

40°C

ミカエリス定数

2.3×10⁻³M (L- α -グリセロホスフェート)

阻害剤

SH試験、イオン界面活性剤、金属イオンなど。

安定化剤

スクロース、FAD

保管・発送情報

安定性

-20°Cで少なくとも6ヶ月間安定しています